

このページでは、「いっしょに！ OSAKINI プロジェクト」と題して、2021年4月に設立された大崎町SDGs推進協議会

(参画団体：大崎町、鹿児島相互信用金庫、株式会社そののまち、株式会社南日本放送、有限会社そおりサイクルセンター、合作株式会社の活動をご紹介します。

いっしょに

OSAKINI PROJECT

VOL. 06

みなさん、こんにちは！

あっという間に12月ですね、この時期になるとなんだかそわそわしてしましますが、焦らず丁寧に過ごそうと心掛けています！

さて、2021年最後の「いっしょに！ OSAKINI プロジェクト」では、協議会に参画している理事の方々をご紹介します。今回は、2021年9月に、新しく参画された「そおりサイクルセンター」さんを含む、3社の理事の方々に取材をさせていただきました。



◀ 中垣るる (なかがきるる)
事務局 広報/PR担当
所属：合作株式会社

① 鹿児島相互信用金庫



「超・地域密着経営」をモットーに、県内に55店舗を展開。地域の困りごとの解決や、中小企業の経営発展のサポートを行っています。大崎支店を建て替える際、旧店舗を地域の方々が集える場として活用いただくため、リノベーションを行い、現在でもご利用いただいています。2018年には「大崎町リサイクル未来創生プログラムの共同開発に関する連携協定」を締結し、慶應義塾大学の学生さん達とフィールドワークを実施。分別をもっと楽にする仕組みを学生や住民の方々と考えるなど、現在協議会が行っている事業と重なる視点から、議論の機会を設けました。ちなみに大崎支店は、現存する店舗で県内3番目に古い老舗です。

住民の方々に向けたコメント

大崎町の方々は皆様とてもあたたかく、地域ぐるみで人を育ててくださっていると感じます。SDGsという言葉は最近よく聞かれるようになりましたが、20年以上前から分別に取り組み、SDGsという言葉もなかった当時から、大崎町ではすでにSDGsの原点となる取り組みをされていました。派手な観光名所は無くても地域外から人が集まるのは、こうした取り組みに魅了されている方々が多いからだと思います。住民の方々の努力を新たな価値に変えられるよう、我々も尽力していきます。(鹿児島相互信用金庫・小川陽三さん)



(上) 慶應義塾大学の学生さん達とフィールドワークの様子

(下) 2021年11月に大崎町商工会、鹿児島相互信用金庫、宮崎県の株式会社ライトライト、そして大崎町役場との協働で町内の事業承継の支援を開始。南日本新聞に掲載された

協議会の中での取り組み

- ・町内や近隣市町村の企業の方々に協議会のプロジェクトに参画いただき、SDGs達成に関する事業の展開等のお話をさせていただく
- ・平成30年から大崎町と連携して取り組んでいる「リサイクル未来創生奨学金」の仕組みを改善・継続していく
- ・町内の事業者の方々が円滑に事業承継を実現できるよう、支援していく 等

町の取り組みを理解し、さらに一緒に取り組んで広めていただく企業の皆さんがいることは本当に心強いことです。大崎町のリサイクルがみなさんの団結でうまくいっているように、これからも様々な分野の方々と一致団結して取り組んでいきます！ 今年一年お世話になりました、みなさま良いお年をお迎えください。

